

■■化学療法投与計画書《変法M-VAC療法》■■

実施日	
-----	--

患者番号	性別	身長	cm	指示医
カナ氏名	生年月日	体重	kg	
患者氏名	年齢	体表面積	m <sup>2</sup>	

Ro) メトトレキサート(メソトレキセート) 30mg/m<sup>2</sup> day1,15,22  
 ビンブラスチン(エクザール) 3mg/m<sup>2</sup> day2,15,22  
 ピラルビシン(ピノルビン) 30mg/m<sup>2</sup> day2  
 シスプラチン(ランダ) 70mg/m<sup>2</sup> day2 4週毎

本管①	Day15		
	ラクテック注 500mL	1	袋
	大塚糖液50% 20mL	1	管
	メイロン静注7% 20mL	1	管

レジメンコメント1
レジメンコメント2

※100mL/時間

側管①	生理食塩液 100mL	1	瓶
30分	メトトレキサート		mg
	注射用メソトレキセート5mg:		

●アプレピタントカプセル  
 Day2 125mg  
 (シスプラチン投与開始1~1.5時間前)  
 Day3,4 80mg  
 ●デカドロン錠4mg  
 Day3,4,5 2錠(8mg) 2×/Day

静注	生食に1mg/mLの濃度で溶解		
	(mL)生理食塩液 20mL		mL
	ビンブラスチン硫酸塩		mg
	エクザール注射用10mg:		

Day22へ続く

<実施時の注意>

漏出時:直ちに投与を中止し、薬剤を吸引、洗浄し、ステロイドの局注、ステロイドの外用剤で対処する。

●ピラルビシン

本剤の尿中排泄により尿が赤色になることがある。

●シスプラチン

アルミニウムと反応して沈殿物を形成し、活性が低下するので、使用にあたってアルミニウムを含む医療用器具を用いないこと。本剤は光により分解するので直射日光を避け、点滴時間が長時間に及ぶ場合には遮光して投与すること。メトトレキサートによると思われる副作用が発現した場合には、通常レボホリナート(アイソボリン)として成人6~12mgを6時間間隔で4回筋肉内注射する。

<注意すべき副作用>

- 食欲不振、吐き気 ●口内炎 ●下痢 ●発熱 ●脱毛(頭髪、まつ毛、眉毛など) ●手足のしびれ
- 白血球減少 ●赤血球減少(貧血) ●血小板減少 ●腎機能低下 ●肝機能低下 ●心機能低下